

令和5年度 味鏡小学校 グランドデザイン

【味鏡小学校 校訓・学校教育目標】

<校訓>

よく学び 心ゆたかで じょうぶな子

<学校教育目標>

何事にも力いっぱいやり抜く味鏡っ子の育成

【重点目標設定の思い】

- 児童の学びに火をつけて、主体的・対話的・深い学びとなるような学習にしたい。
- ESDを取り入れることにより、児童一人一人が自分のよさや可能性を認識できる自己肯定感を育むなど、持続可能な社会の創り手となることができるようにしたい。
- 教職員、児童、保護者、地域がつながった持続可能な学校を目指したい。
- 地域を大切にできる児童になってほしい。
- 教職員の働き方改革に取り組み、質の高い教育活動を目指したい。

【令和5年度

名古屋市学校教育の努力目標】

ともに学び

自分らしく生きる

【令和5年度味鏡小学校学校教育重点目標】

元気、つながりのある味鏡小学校
～ESDを軸として～

【味鏡小学校で目指す子どもの姿】 = 育てたい資質や能力を意識して ※「何ができるようになるか」

- 誰一人取り残さず、みんなが元気よく登校できる。(自律心)
- 自分や周りの人々を大切にし、認め合い、協力して行動できる。(協調性)
- 主体的に学習に取り組み、自分で探究し、学びを深めることができる。(学びに向かう力、知識・技能)
- 友達との対話を通して、問題解決を図ることができる。(思考力・判断力・表現力、コミュニケーション力)
- 社会とのつながりを意識して、地域の人と進んで関わることができる。(豊かな人間性)

目指す子どもの姿に迫るために ※「何を、どのように学ぶか」

児童を元気に、児童同士・児童と社会・児童の未来へつなげる

【学習指導】

<学校努力点>

「ともに学び、ともに高める」(北中ブロック3校共通)
～児童が中心となって学ぶ授業づくり～

- 学びに火をつける**発問等**の学習活動の工夫。
- タブレットを活用した学習活動。
- 対話を取り入れた、問題解決を図るための協働的な学び。
- 探究的、体験的な活動を取り入れた総合的な学習の充実。
- 個別最適な学び**を取り入れた学習。
- 学習指導要領にある3つの資質・能力(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性)を育成するための活動計画と評価の作成。
- 教科横断的な視点でのカリキュラムの工夫。(ESDカレンダーの作成、カリキュラムマネジメント)
- 学校・学年の目標に沿った学習について発表する場として、学習発表会を実施。
- 読書活動の推進。(本を通して様々な社会とつながる)
- 高学年教科担任制の取り組み。
- 基本的学習習慣を定着させる取り組み。

【生活指導・その他の指導】

- 誰一人として取り残さないための教育相談体制づくり。(SCや子ども応援委員会との連携)
- 誰にでも相談できる相談体制の構築。**
- いじめを許さない集団づくり。お互いを大切にし、認め合える学級活動の工夫。
- あいさつが進んでできるようにするための働き掛け。
- けがの予防、防災・防犯、交通安全に関する指導の充実。(自分、命を大切にする)
- Q Uを基にした、学級集団づくり。
- 持続可能な社会の創り手となるようなキャリア教育の推進。
- 小学校と中学校をつなぐ教育活動の工夫。**
- 健康なからだづくりに関する指導の充実。(体力アップ、健康教育、食育)
- ペア活動など、異学年・学級間交流の充実。
- 交流及び共同学習等特別支援教育の推進。
- 問題行動等への組織的な対応。

家庭・地域を元気に、家庭・地域と学校をつなげる

教職員を元気に、教職員同士をつなげる

【開かれた学校づくりを行い子どもを育てる】

- 中学校ブロックでの共通理解や連携を図るための取り組み。**
- 学校開放日の設定。
- 運営サポーターの募集。(学校行事等のお手伝い依頼)
- PTA活動との連携。
- 家庭との連携による基本的生活習慣の定着。
- 学校教育努力目標や小中連携の取り組み等の家庭や地域への情報提供。
- 地域とともに考えるESDの取り組み。(総合的な学習や生活科の学習を中心に)
- 地域の方との交流。
- 学区探検や体験活動など訪問先や講師の依頼。
- 人との出会いを大切にされた教育活動。**
- 登下校時の見守り。
- あいさつを通しての交流。

【教職員体制を見直し、質の高い教育を目指す】

- 働き方改革の推進。
教育活動の質を高めるための工夫。
- 支え合い、課題解決を図る学年集団づくり。**
- 力量向上を図るための職場内研修の推進。(OJTの活用)
※ESD、ICT、いじめ問題行動、教育相談、防災・防犯等危機管理など。
- 教職員それぞれがリーダーシップを発揮する取り組み。
- 一歩前進するカリキュラムマネジメントと学校評価。
(PDCAサイクルを生かして)
- 目標意識を高める教職員集団づくり。
- 義務教育9年間を見直し、子どもたちが将来社会で生き抜いていく力を育成するための、小学校と中学校の教職員の交流、協働。**

各学年の目標および目指す子どもの姿

1年生

【重点目標】

「ぐんぐん」

自分でできることを増やして、自信をもつてのびていこう。

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- 自分でできることを増やす。
- 周りに目を向けてできることを増やす。
- できるようになったことを伝えることができる（自信をもつ）

2年生

【重点目標】

「元気いっぱい！力いっぱい！笑顔いっぱい！」

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- 協調性をもって行動できる。
- 地域の人と進んで関わるができる。
- 基本的な学習能力を身に付ける。

3年生

【重点目標】

「サン SUN」

～太陽のような笑顔で元気に生活できる子～

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- 基本的な学力を身に付ける。
- 進んで学び、他者との関わりを通して自分の考えを広げることができる。
- 基本的生活習慣を育成し、心身ともに健康な生活を送ることができる。
- 互いに認め合い、思いやりの気持ちを育てる。
- ものを大切にすることを育てる。

4年生

【重点目標】

「Go for it！」

～まず、やってみよう～

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- 安全に気を付けて、元気よく登校できる。
- 自分や周りの人を大切に、それぞれの個性を認め合う。
- 自分のめあてを立て、継続して取り組む。
- 友達との対話を通して、学習を深める。
- 地域の人との関わりを通して、知識を広げ、地域によさに気付く。

5年生

【重点目標】

「みんなで高め合える5年生」

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- よりよい友達関係。
- 元気よく。
- 前向き。
- ルールを守る。
- 高学年らしさ。

6年生

【重点目標】

「TWINK6=かがやき」

～一人ひとりが輝く一年！！～

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- T：挑戦（最高学年として学校全体をリード）
- W：輪（支えてくれた人々への感謝、地域への関わり）
- I：意識（あいさつ！自分の役割をきちんと果たす）
- N：仲間（認め合い、思いやり、協力、対話）
- K：規律（ルールを守る。{校内、社会、家庭内

たんぽぽ・さくら

【重点目標】

- 自分のことがしっかりできる
- 友達も自分も大切にする
- 素直な心で明るく過ごす

【育成したい資質や能力】※「何ができるようになるか」

- 気持ちのよいあいさつや返事ができる。
- 自分の仕事や役割に真面目に取り組むことができる。
- 困ったときは、助けを求めることができる。（を貸しすぎない）
- よく食べ、よく動く。
- 集団生活を送るために必要なきまりを理解し守る。

